

●東京都町村議会議員講演会（東京都） 沖山 昇
令和8年5月7日 15時00分～17時00分

目的：議員の研修

演題 議会の災害対応とBCP

講師 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 まちづくり学科
教授 鍵屋 一 氏

成果

1. 議会の災害対応とBCP

日本での災害は、地震、津波、台風、火山などが想定されているが、災害時の避難者の避難所ではプライバシー問題、感染症や性犯罪のリスクなどが考えられることから、ホテル・旅館等への宿泊による避難環境の改善が望まれる。

近年では高齢化が進み続け、75歳以上は30年で約3倍となっており、要介護認定者については、75歳以上になると65～74歳までの約7倍で、日常生活動作もできないことが増えてくる。また高齢者独身世帯は30年で約3.4倍、障がい者は25年で約62.5%増加している。そのような中、昔のような近所づきあいも減り、町内会や自治会活動への参加も低下している。すると「自助・共助・公助」では、自助：高齢者の単身化、共助：近所のつながりの弱さ、公助：消防団員や自治体職員の減少といった点により、自助・共助・公助が成り立たなくなっているのではないかと。そこで普段からの訓練と自治会等の地域との係わりが重要。

私たち議員においては「住民の命と尊厳を守る」を使命とし、損失を最小化するため議会BCPを定めカバーしなければならない。そして災害時の議会・議員は、町と協働し、国・都・防災関係機関・国民に働きかける。

議会BCPにて応急対策期の議会及び議員は、効果的な対応を実行する。

1. 活動ルール（議長への情報一元化等）
2. 活動の道具（情報共有タブレット、全協等の機会、オンライン会議）
3. 積極的な情報提供（行政と町民へ）
4. 積極的な地域活動（在宅・車中泊）

特に、行政と議会・議員は、平時と異なり、一体となり、力を合わせ、同じ方向性で応急対策期を乗り越えることを心得とする。

人や地域のつながりが大切で、決め手となるのは「ご近所力」で、安全安心の源泉である。そして人を健康で幸福にするのは「良い人間関係」に尽きる。